

平成23年度 森プロ事業実績：王子森プロ

(平成24年3月末現在)

		H22年度		H23年度			5カ年 計画
		計画	実績	計画	実績	達成率	
集約化(ha)		574	550	57	0	0%	721
作業道(m)		2,900	0	7,000	1,850	26%	19,500
間伐等	面積(ha)	13	1	29	0	0%	186
	材積(m3)	620	23	1,300	0	0%	10,700
備考		作業道支障木628.076m3					

H23年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 0円/m3

施業集約化の状況

個別訪問による集約化の実施

施業プランの活用状況

プラン書にて個別に説明し承諾を得ている。

施業プランナーの養成状況

・森林施業プランナー：1名(中濃森林組合兼務1名)



現地説明会(10.2)

作業道開設状況

23年3月の雪解けから着工し早期完成を目指したが、急峻な地形に九十九折りの線形であるため、丸太組工に手間を要した。また、岩盤や軟弱な地盤が混在し完成が11月にずれ込んだ。



進行管理会議での現地討議



明石1号線丸太組工

間伐実施、作業道開設等による水源涵養機能への影響調査のため、濁度計(岐阜県森林研究所の協力による)を設置し、濁度を計測した。併せて水位の計測、林地保水力の計測(ポリマーシートの設置)実施した。



水位計測状況



濁度計設置状況

#### その他

- 1 進行管理会議の開催(6回)
- 2 地域住民への現地説明会の開催。(2回)

#### 森プロの成果

・災害に強い作業道開設を目指し、また作業道作設の重要性を理解してもらうため、地域住民への現地説明会を2回行った。

#### 今後の課題

・森林整備を行うことの必要性、特に作業道(路)の開設の重要性を、地域住民及び森林所有者に理解してもらい、地域の集約化を推進していく体制の強化。  
・作業路開設に係る、伐開幅の検討、検証  
・路面排水、急傾斜地での作業道作設等、開設技術の向上、崩壊のない災害に強い作業道(路)開設を目指し、普及啓発を図り集約化に参画してもらう。